

自然感

くすのき

yumi



季節感

梅が香や どなたが来てても 欠
茶碗 一茶
古来、花と言えば「梅」であっ
た... 早春に気高い香りを届けて
くれる。

『ウメ』

平成20年2月1日
福岡市中央区西公園
大塚俊樹



熊海居人独言

2 3

「里の恵み 2」 先月号では七草を始め、年間行事と里の恵みの幾つかを紹介しましたが、今回は里の恵みの味わい方をクマの経験の中から、幾つか紹介します。

正月7日の七草は、全国的には七草がゆが一般的であるが、福岡地方では味噌汁が一般的である。福岡地方では元旦より6日までは、「みそをつける=失敗する、面目を失う」事を避けるため、味噌汁は食べない。7日の早朝に、農家ではそれまでに摘んで置くかまたはなどして用意していた七草を、「唐土の鳥とおとらの鳥が 渡らぬうちに七草たたけ」と唱えながら包丁としゃもじで叩き、細切れにして味噌汁の具にする。町の住人も親類や出入りの農家の人に頼んで用意しておく。正月の魚として用意していたブリやタイなどの骨を、味出しとして入れる場合もある。

3月から4月になると本格的な春の恵みの季節となる。田には菜の花が咲き乱れる。咲き始めの頃茎の上部を摘んで茹でると、美味い食べ物となる。川岸にはセリ、土手や畦にはツクシやヨモギなどが生長を始め、茹でものや天ぷらなど色んな食べ方ができる。里近くの竹林ではタケノコが芽生え、茅場ではワラビやゼンマイ、雑木林の縁ではフキが顔を出す。これらは茹でて毒抜きをして乾燥させたり、塩漬けにしたり、佃煮にしたりなどの加工をして保存食料として利用する。

タニシも春の恵みの一つである。春先には池や沼、小川や湿田の中でたくさんのタニシが出現する。これを茹でて殻から取り出し、甘辛く濃いく味付けして保存食とする。昭和20年代は、ザリガニも春から夏にかけてのタンパク源であった。よく蓮田や沼状のため池などで遊びながら捉えていた。家に持ち帰り、茹でて剥き身にし、砂糖と塩で佃煮状に煮て食べていた。



☆☆☆油山レンジャー募集☆☆☆

アシスタントレンジャー(パートタイマー)募集

財)日本野鳥の会では、福岡市油山自然観察の森にてインタープリテーションなど自然解説業務を担当するレンジャーを1名募集いたします。勤務は2008年4月からです。興味ある方、まずは油山自然観察の森の永松までご一報ください。詳しい募集内容をお知らせいたします。

連絡先: 福岡市油山自然観察の森 自然観察センター内

〒811-1355 福岡市南区大字松原 855-1

TEL 092-871-2112

FAX 092-801-8661

E-mail aburayama@wbsj.org

スタッフ募集担当 永松愛子



事務所移転のお知らせ

自然案内舎(有)クラブードの事務所を、1/30に移転しました。

新事務所: 〒814-0144

福岡市城南区梅林2丁目10番23号

ハイツ中村401

地下鉄七隈線梅林駅のそばです。

TELとFAX番号は2/1から092-400-1765に変わりました。

従ってナイス福岡の事務局も移転しました。

ナイス福岡事務局 田村耕作

会員活動のお知らせ(出版物)



NAIS福岡会員の池田友行さんの写真集『脊振讃歌』が出版されます。以下、池田さんよりの投稿記事です。

～「脊振讃歌」出版にあたって～

「脊振讃歌」 著者：池田友行

発行 権歌書房 発売日 2008年1月25日

発売 星雲社 定価 1800円(税別)

この度、念願の写真集「脊振讃歌」を出版するようになりました。40数年まえに学生時代のワグ-フゲル部での活動の場として歩いた脊振の自然と山野草、沢登りなどをまとめたフルカラー全108ページです。足掛け13年に及ぶ写真集とともに「脊振

の花ごよみ」、「ガイド図」も付けています。撮影の始まりはふとしたことから山が恋しくなりゴールデンウィークに坊主ヶ滝から金山へ登った時、知り合い夫婦に遭遇したのがきっかけでした。それからまた登山を始めるようになりました。また仕事中に立ち寄った書店で「ひこさんの花」の本と出会い、著者：崎山欣一郎先生をお訪ねして山野草に興味を持ち始めました。ワグ撮影もおぼつかず、また野草の名前にも無知なので図書館通いが続きました。写真暦は長いもののポジフィルムでの撮影のノウハウは有りませんでしたので失敗続きでした。満足した写真も暫らくすると下手な写真しか見えなくなりました。安物の三脚は2本壊し、ズックの登山靴は履き崩し、滑って打撲し毎週のように整形外科通いが続いたこともあります。とヒストロフィルタ、レンズなどの忘れものもよくやりました。滝の撮影を終わって戻るときに枯れ枝に手を添えた枝が折れバランスを失い三脚にセットしたかたごと身の丈以上ある水溜りに沈んだ事もあります。友人夫婦と沢にソウメイを食べに行った時のことでした。ビールを飲んだのが悪かったようです。宝満山での忘年登山では焼酎を飲みすぎ酔っ払って下山したこともありました。それ以来、山でのアルコールは一切止めています。

安物を買うより高くても良いものを購入することで撮影効率も上がり始めました。

1997年2月4日に西日本新聞「フォト随想」に掲載されてから写真展を開催したり広報誌に掲載されたりしました。山小屋の管理人や別荘のオーナーを尋ねるたびにコーヒーをご馳走になり、色々な方に世話になりました。大学での同期の権歌書房の東さんとの出会いがあってここまで辿りつきました。編集にあたっては冷川先生や田村さんにもお世話になりました。厚くお礼申し上げます。 - 感謝

表紙の写真は野河内溪谷 材木ヅナガツリです

書店には2月20日すぎに並ぶ予定です。(福岡金文堂、丸善、ジュク堂など)

また 池田あて、メールかFAX頂ければ、送料、振込み手数料、税込み込み 1890円でお届けします。

メールアドレス : yama-boushi@smile.email.ne.jp

FAX : 092-843-1689



～事務局からのお知らせ～

この、NAIS福岡会報『自然感くすのき』は、NAIS福岡ホームページにも毎号掲載しています。(<http://www.kurabird.com/> (自然案内舎(有)クラブードHP)のトップページ下方にある、「福岡県自然観察指導員連絡協議会」からお入り下さい。)

現在、この会報は、全会員に郵送しておりますが、もし、「ホームページの方で見るので、郵送分は必要が無い」という方がいらっしゃいましたら、事務局までお知らせ下さい(連絡先は、会報奥付をご覧ください)。順次対応させていただきます。

なお、この場合、郵送費用はホームページ維持費に充てますので、ご了承下さい。

日本野鳥の会福岡支部 主催

参加費：100円（中学生以下無料）

2 / 17 (日) 3 / 16日(日)
天拝山探鳥会（筑紫野市）
時間：9:00～12:00
集合：天拝山歴史自然公園
問合せ：092-920-7112（山本勝）

2 / 23 (土) 3 / 22 (土)
久末ダム探鳥会（福岡町）
時間：8:00～11:00
集合：久末ダム多目的広場横駐
車場（管理事務所下）
問合せ：0940-33-7846（高原和幸）

3 / 2 (日)
今津探鳥会（福岡市西区）
時間：9:00～12:00
集合：玄洋高校西側道路
問合せ：092-891-9005（神園道男）

3 / 8 (土)
大濠公園探鳥会（福岡市中央区）
時間：9:00～12:00
集合：ポート乗り場前
092-573-1827（森健児）

3 / 9 (日)
和白海岸探鳥会（福岡市東区）
時間：9:00～12:00
集合：JR 和白駅前公園
問合せ：092-606-0012（山本廣子）

2 / 11 (月) 建国記念日月例探鳥会
赤い鳥、青い鳥を探しに
時間：10:00～14:00頃
集合：井出2号公園（牛頸ダム入り口）
問合せ：092-573-1827（森 健児）
小雨決行・要防寒具・弁当持参

日本野鳥の会筑後支部 主催

参加費：100円（中学生以下無料）URL: <http://mamewari.blog.ocn.ne.jp/>



2 / 24 (日)
濃施山公園（みやま町）
時間：9:00～
集合：公園内すいせん橋
問合せ：0944-58-1672（野田）



三国丘陵の自然を楽しむ会 主催

<http://mikunikyuryo.blog107.fc2.com/>

2 / 23 (土)
片無双網獵の仕掛けを体験しよう!
三国の里山で今もひっそりと続くカモ
の無双網獵、その仕掛け(少し小さめ)を
見せてもらう予定です。(野鳥の捕獲で
はありません。)

時間：9:30～13時頃
集合：簡保レクセンター跡地
イスノキ通り駐車場
問合せ：092-920-3072（松永）
要：駐車場代・保険料

福岡植物友の会 主催

詳細は：092-947-6536（大吉博子）

新九州歴史資料館の建設工事開始が3
月からに延びたため、今回が工事前最後
の跡地となります。

和白干潟を守る会 主催

2 / 23 (土)
守る会定例会議
時間：10:30～12:30
集合：和白干潟を守る会事務所
問合せ：092-606-0012（山本弘子）



2 / 23 (土)
クリーン作戦 と自然観察会
時間：15:00～17:00
集合：海の広場 駐車場なし
長靴・軍手があると便利
問合せ：092-661-1594（田辺スミ子）

久留米の自然を守る会 主催

3 / 30日(日) 第355 回例会
筑後川春の野草を楽しむ会
時間：9:00～15:00
場所：くるめウス
参加費：400円
問合せ：0942-46-8622（古賀）
共催：筑後川まるごと博物館
持参：ご飯、お箸、おわん、水筒、
野草の事前採集を29日に行います。
柳坂バス停13時集合

福岡市油山自然観察の森 主催

往復ハガキでの申込方法はハガキに「行事名・行事実施日・住所・氏名・年齢・
電話番号」を記入の上、自然観察センターまでお送り下さい。

2 / 24 (日)
も～も～らんどで
バードウォッチング
森の中だけでなく、牧草地にいる鳥
の様子などを観察します。
時間：10:00～13:00
対象：一般
申込み：不要・9:30より受付
も～も～らんど中央広場
定員：なし
雨天実施

3 / 2 (日)
森のクラフト工房 in 椿まつり
木の実や小枝などを使って小さな置
物など、自由に作品を作ります。
時間：9:30～13:00
対象：一般
申込み：不要・随時受付
市民の森管理事務所前
定員：なし
雨天実施

問合せ：油山自然観察センター
参加費：100円
〒811-1355
福岡市南区松原夫婦石 855-1
TEL：092-871-2112
開館 9:00～16:30（月曜休館）



◇◇◇2007年度九州自然協議会報告◇◇◇

九州自然協議会の報告原稿をお送りします。熊本連絡会の会報に、掲載された記事です。編集長より、転載の了解を得ています。なお、今年の九州自然協議会は、2007年12月8日～9日、熊本県水俣市袋のグリーンスポーツ水俣で行われ、九州各県（福岡県・長崎県・佐賀県・大分県・熊本県）から40名近くの指導員が集まりました。NACS-Jからも、大野さん・木幡さん・阿部さんの3人が参加されました。

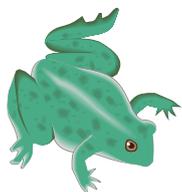
初日の昼は、報告の原稿にありますように、カエルツボカビに関する研修会でした。夕方から交流会。皆で準備をし、野外で行いました。火をおこして地元の魚を焼き、地元の刺身を食べ、豚汁を食べあちこちから持ち込まれたお酒とともに、炎を見つめながらの語らいのひとときとなりました。2日目は、地元のパン、地元の紅茶で軽い朝食をすませ、海岸林で自然観察会。昼前に解散しました。

なお、来年度の九州自然協議会は佐賀県となりました。

それから、来年度について、一つ連絡があります。自然観察指導員講習会が、九州では佐賀県で行われます。もともとは佐賀県との共催なのですが、これに、佐賀の連絡会と、九州自然協議会も共催団体となることになりました。60名の定員確保が目的です。福岡県でも、宣伝をよろしく願っています。

では 来年 佐賀県でお会いしましょう

田畑清霧（たばたすがきり）



研修会「カエルツボカビ症とは？フィールドでできることは？」 報告

中間幸弘

12月8日（土）午後1時30分から午後5時、グリーンスポーツ水俣（水俣市袋）において、熊本県を中心に九州各県から約40名の参加のもと、九州自然協議会（本年度担当：自然観察指導員熊本県連絡会）及び日本自然保護協会（NACS-J）の共催でカエルツボカビ症に関する研修会が開催されました。その概要について報告します。

まず、神奈川県衛生研究所の黒木俊郎先生から「カエルツボカビ症とは？その最新の状況と対策」についてお話しをいただきました。主な内容は次のとおりです。

- ・カエルツボカビの分類、特徴、生活環、形態、検査方法、消毒方法
- ・カエルツボカビに感染したカエルの症状、診断法、治療法
- ・カエルツボカビ検出の歴史
- ・中米及びオーストラリアにおけるカエルツボカビ症侵攻の事例
- ・アジア及び日本での事例
- ・カエルツボカビの感染実験及び環境省による全国調査の経過報告
- ・今後の対応



などなど

以上、学術的かつ専門的な内容ではありませんでしたが、電子顕微鏡写真などを交えながらの講義で非常にわかりやすくカエルツボカビ症に対する理解を大いに深めることができました。

カエルツボカビ症についてはまだまだわからないことが多いとのことでしたが、野外で広まったらどうなるか危機感をもつ必要があることを実感できました。私たち自然観察指導員としては、カエルツボカビ感染拡大防止のための三原則、ツボカビを調査地に持ち込まない！ ツボカビを汚染地から持ち出さない！ ツボカビを運搬しない！ ことを守るとともに、それをまわりに伝えていくことが大切であると思います。

カエルツボカビ症の情報については次のホームページが参考になります。

カエル探偵団 <http://web.hc.keio.ac.jp/~fukuyama/frogs/tubokabi/index.html>

麻布大学 <http://www.azabu-u.ac.jp/wnew/detail07/070111.html>

次に、熊本県希少野生動物検討委員会副会長（は虫・両生類担当）である石黒義也先生から、「熊本県の両生類事情」と題して本県に生息する両生類について、裏話（ここだけの話）も交えながら楽しいお話しをいただきました。

とくに、食用としてのオオサンショウウオの話（もちろん昔のこと）やほれ薬としてのイモリの効用など大変興味深い話が印象に残りました。もちろん、カエル、サンショウウオ、イモリなど県内に生息する両生類の特徴や見分け方、生息状況など専門的立場からのお話もいただき、大変有意義な講演でした。

今回は両生類についての話しが中心でしたが、機会があればヘビについてのお話しもお伺いできればと思いました。

最後に、NACS-Jの大野さんから、自然観察指導員としての新たな心構えについてお話しをいただきました。とくに自然観察会やフィールド調査を行う場合には、その場所に病原菌や外来の種子を散布することにつながらないよう心がけること、そして自分のフィールドの異変に気づくことが大切であるとの提言をいただき、認識を新たにすることができました。

～先日の九州自然協議会お疲れ様でした～

豊田 文也

九州各県の指導員の方とお会いでき大変楽しい時間を過ごすことが出来ました、ありがとうございました。

カエルツボカビ症、最近の講義講座等で外来生物問題と合わせ話題になるので知っていましたが、改めてその恐ろしさに... 身が引きしめる思いです。そういえば今年、家の庭の可愛いアマガエル見なかったなア～・・・ン！もしかして!・・・」なんて事にならないよう、身近なフィールドでの観察、続けていきます!

次の日の朝、海岸での植物観察会、水俣の美しい景観や、自然に感動です!ナガミノオニシバの生命力や、ツクシザクラの力強さには生きることの意味やすばらしさを考えさせられます

森と、海の観察が同時に出来る場所...天草でも探していたところです

来年 2008 は国際サンゴ礁年です。国立公園である天草でも海での観察会やイベントを行いたいと思っていますので、皆さんよろしくお願いたします。



五ヶ山ダム予定地の巨木たちは今・・・

山本 勝

皆さん覚えておられますか?以前のくすのき 2002年11月(88)と2003年1月(90)のちょっと気になるこんな記事に、県営五ヶ山ダム(福岡県那珂川町と佐賀県吉野ヶ里町)の水没予定地に佐賀県指定天然記念物のスギや樹齢400年のアカガシ、環境省絶滅危惧 類のクロシジミ、同 B類のヤイロチョウなどの希少種が生存しているということ。

年明けの1月6日に、家内と久しぶりに現地を訪ねてみました。那珂川町の南畑ダムの上流、網取にある山神社(須佐神社)を訪ねました。以前は巨木の樹冠に覆われ、昼間でも薄暗い鎮守の森を旧道からすぐの階段下から見上げつつ登ったものでしたが、今は伐採不可の赤テープのある3本(ツバキ・イチヨウ・ツクバナガシ)以外はほとんど伐られ、あっけらかんとした空間です。ダムの建設事務所に伺うと、ダムができると写真に見える神社の石垣よりも高く、そして石垣より手前側に現在の道路の上に土盛りをして、新しい道路が建設されるそうです。写真で3本の巨木が見えますが、それは残るそうです。ただ、道路のすぐ傍で、道路の方が高い位置になる。周りの高木が切られて明るく乾燥していることなどから、排気ガスの影響を受けないような施策が望まれます。

次に、もっと上流の佐賀橋から板屋へ向かう沿線にある小川内の山祇神社へ向かいました。ここは佐賀県吉野ヶ里町(旧東脊振村)です。こちらのたたずまいは前のままですが、灯籠などにガムテープが貼られ処分と書いてあります。古い鳥居の新年の注連飾りが何だか空々しい感じです。ここには、佐賀県指定の天然記念物の夫婦杉があります。樹齢7~800年、大小3株の杉が根元で癒着したもので、樹高は38mに及びます。ダムの建設事務所に伺うと、ここは氏子さん管理の場所で巨樹の扱いについては現在も検討中とのこと。何とか残って欲しいものです。当会の冷川代表もこのダムの環境カウンセラーとして有識者名簿にありましたので、是非この辺のいきさつなど聞かせていただければと思います。



以前の山神社跡



現在の山神社



伐採不可の赤テープ(山神社跡)



夫婦杉・山祇神社



処分のガムテープ
山祇神社

事務局からのお知らせ

インターネット掲示板に会員の皆様の書き込みをお願いします。
ナイス福岡のアドレスはこのページの一番下に表示しています。

会費振込について

それぞれの会員の皆様の会員期限をタックシール部分に明記してあります。各自ご確認の上、郵便局にて下記の郵便振替口座に振り込みをお願いいたします。なお、会計年度は6月から翌年5月末までです。

郵便振替口座：福岡県自然観察指導員連絡協議会 01760-9-15783 年会費：2000円

皆に知らせたいことはありませんか？

皆さんが行っている観察会やイベントの案内、自然保護に関する情報やご意見、お薦めの本の紹介などをお寄せ下さい。原稿は定例会の一週間前までに事務局にお送り頂くとその月の会報に載せることができます。皆さん情報をお待ちしています。

定例会に参加してみませんか？

本会の運営に関する打ち合わせや情報交換、会報の発送作業を原則として毎月第2金曜の18:00～20:00ごろまで自然案内舎(有)クラブにて行っています。

会員の方はどなたでも参加できるのでお気軽にお立ち寄り下さい。皆さんのおこしを心よりお待ちしております！

次回の定例会は、2008年**3月14日(金)**午後6時より事務局で行います。3月号の原稿は、3/3(月)までに届くようにお願いします。なお、原稿を掲載するに当たっては編集担当にお任せ願います。

他団体の会報の紹介

日本野鳥の会筑後支部 まめわり第82号 2008年2月1日

ネイチャー佐賀 Nature - Saga 第33号 2008年1月26日

福岡県青少年アンビシャス運動推進室 アンビシャス通信vol.40 Jan 2008

福岡植物友の会 会報 平成20年1月号

自然観察指導員熊本県連絡会 自然観察 第120号(08.01.08)

行事案内

第1回 NOKOファームショップ

食育推進ネットワーク福岡の活動の一つとして、能古島プロジェクトがスタートします。能古島の豊かな自然の中で、皆さんと一緒に素敵楽しく農体験をしてみませんか。【主催/能古島をステキにデザインするプロジェクト】

日時：2月16日(土)と2月17日(日) それぞれ8時15分姪浜の能古島渡船場集合。どちらか1日でも構いません。

参加費：500円/船賃440円が別途必要です。持参するもの：お弁当、水筒、長靴、軍手。

申し込み締め切り/2月12日(火)

参加申し込みと問い合わせ/NPO希望の池田まで 092-522-8332

携帯 090-94797209 電子便住所 ikeda@npo-kibo.jp

青少年アンビシャス運動シンポジウム 特別講演 「こんなに違う?日米子育て事情」タレント兵藤ゆき

3月2日(日)13時半から16時まで/会場アクロス福岡イベントホール(福岡市中央区天神)

申し込み方法は、パソコン、携帯、FAXによる方法があります。

問い合わせ先 福岡県青少年アンビシャス運動推進室(シンポジウム担当)092-643-3615

第13回森林と市民を結ぶ全国の集い

総合テーマ 暮らしにつながる森づくり

3月8日(土)13時30分から17時30分まで/全体会・トークセッション

会場 電気ビル本館/福岡市中央区渡邊通り

3月9日(土)10時00分から16時00分まで/分科会・全体ディスカッション

会場 あいれふ9階・大研修室 福岡市立婦人会館/福岡市中央区舞鶴

主催 第13回森林と市民を結ぶ全国の集い実行委員会、(社)国土緑化推進機構

問い合わせ先 事務局 080-6438-4268 電子メール 13tudo@freeml.com



お問合せ： 福岡県自然観察指導員連絡協議会
(NAIS Fukuoka: The Nature Interpreter Society of Fukuoka)
代表：冷川昌彦/事務局長：小野 仁/
編集：田村耕作・山本勝・松永紀代子・吉田素子/会計：宮原俊彦
〒814-0144 福岡市城南区梅林2丁目10番23号
ハイツ中村401
自然案内舎(有)クラブ内 TEL & FAX: 092-400-1765
URL: <http://www.kurabird.com/>
掲示板 URL: <http://bbs9.fc2.com/php/e.php/~naisfukuoka/>

編集後記

2008年1/11定例発送会は、西村裕美・鶴田義明・大塚俊樹・門司慶子・重松尚紀・冷川昌彦・藤川渡・山本勝が参加。田中健二・田村耕作から欠席の連絡。WFから飴、KMからマロンポテトパイ、MYから南部せんべいの差し入れあり。事務局移転に伴い会員の皆さんに何かと不自由をおかけすると思いますが、ご勘弁を。田字草

